

平成18年度実施「物流サービスに係る内外価格差調査」報告

・調査の概要

1. 調査の目的

物流サービスに係る価格水準等の内外価格差については、旧運輸省（物流連受託）において、平成7年度にアメリカ、平成8年度にヨーロッパ主要国、平成10年度及び13年度にアメリカ及びヨーロッパ主要国における物流サービスに係る価格水準などの実態調査を行ない、わが国との国際比較を行った。

本調査では、前回調査時点より5年が経過し、この間為替相場の変動や燃油費の高騰、IT化の進展、EU統合の拡大、世界経済の回復等多くの変動要因が発生しているほか、わが国においても物流を取り巻く環境が年々変化しているため、改めてこれら諸国との比較調査を実施した。

また、今回初めて、近年の東アジア諸国との間及び東アジア諸国内における物流の活発化、準国内化を踏まえ、シームレスな物流を実現するための大きな要因となる物流サービス価格を東アジア諸国（中国、韓国、タイ）においても調査した。

2. 調査内容（欧米国内輸送とわが国国内輸送との運賃水準の比較）

調査対象国

- ・アメリカ（ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ）
- ・ヨーロッパ（イギリス、フランス、ドイツ、オランダ）
- ・アジア（中国、韓国、タイ）

調査対象輸送機関

トラック輸送（LTL、TL）、宅配便、鉄道（コンテナ）、海運・内陸水運、航空

調査の方法

- ・対象国の事業者、国内の事業者等からヒアリング調査および既存資料の収集、検討、分析によって実施した。
- ・調査時期は、2006年12月～2007年2月
- ・為替レートは、2006年12月～2007年2月までの各月末為替相場の平均とした。

1アメリカドル	= 120.76円	1ユーロ	= 158.49円
1イギリスポンド	= 239.03円	1中国人民元	= 15.39円
1韓国ウォン	= 0.130円	1タイバーツ	= 3.570円
- ・購買力平価は、OECD発表の2006年時点による（なお、ユーロのみEU15ヶ国の平均値による）。

1アメリカドル	= 124.0円	1ユーロ	= 142.5円
1イギリスポンド	= 200.6円		
1韓国ウォン	= 0.166円		

注1) 購買力平価とは、ある一定の商品やサービスを購入する際に必要な金額を各国の通貨で調べた後、それらが等しい価値を持つと考えられる交換レート。最も代表的な購買力平価がOECDによるGDP購買力平価である。

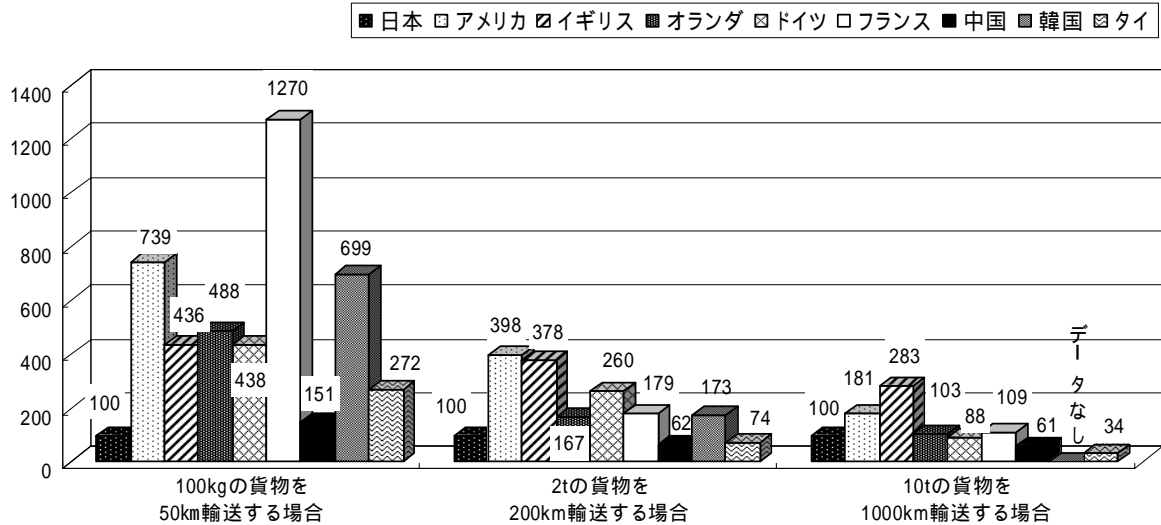
注2) OECDによるGDP購買力平価は、中国人民元、タイバーツについては発表されていないため、本調査では、中国およびタイの運賃水準については、購買力平価による比較は行っていない。

・モード別事業規制の実態（略）

・ 運賃内外価格差（欧米・アジア諸国の国内輸送とわが国国内輸送との運賃水準の比較）
 （日本を100とした指数比較） - 抜粋 -

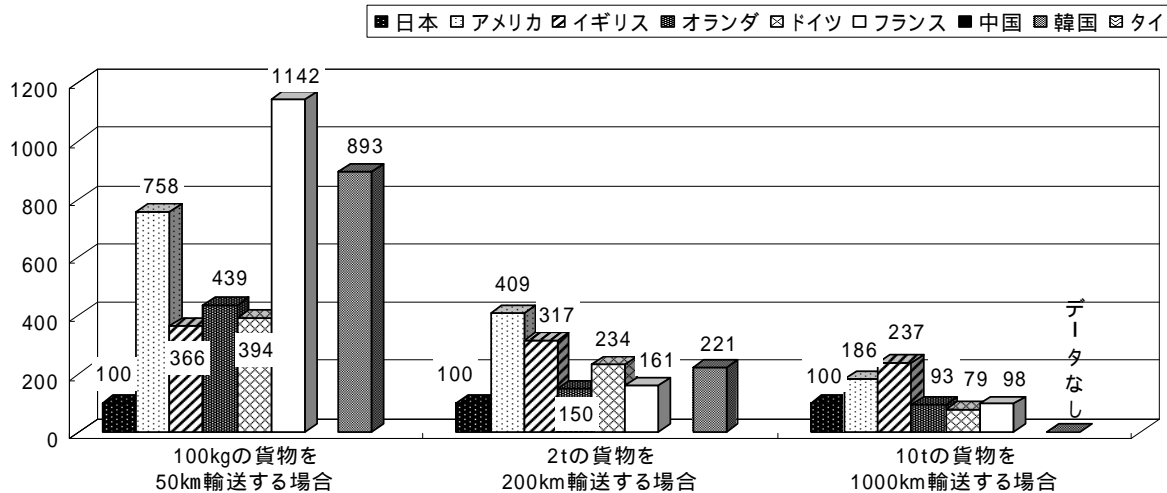
1. トラック
 為替レートによる比較

・ 欧米と比べて、あらゆる距離帯、重量帯で、ほぼ日本の運賃が安い。
 ・ 大量・長距離輸送の分野の一部のみ、欧米の運賃が日本より安くなる傾向にある。
 ・ アジア諸国と比べて、少量・短距離の分野も一部は日本の運賃が安い、大量・長距離輸送の分野は、アジア諸国の運賃が日本より安くなる傾向にある。



購買力平価による比較

・ 大量・長距離輸送の分野の一部を除いて、概ね日本の運賃が安い傾向にある。

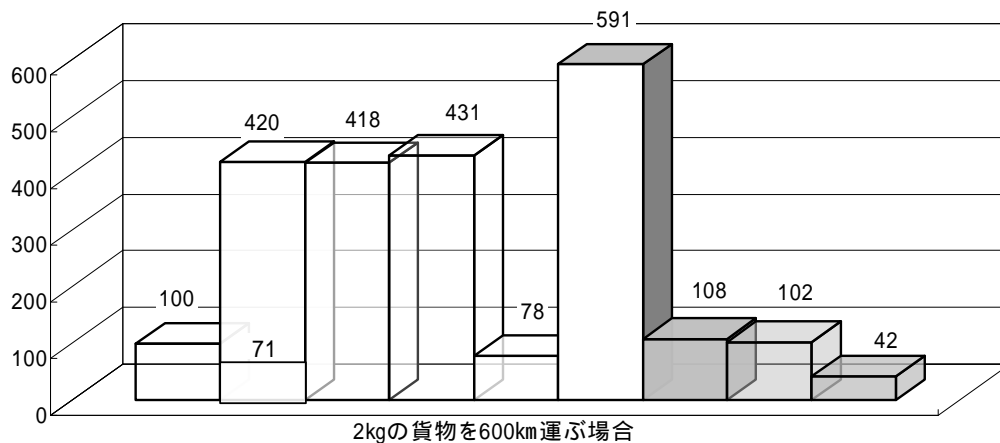


（注）OECDによるGDP購買力平価は、中国人民币、タイバーツについては発表されていない。

2. 宅配便 為替レートによる比較

- ・アメリカと比較すると、アメリカで一般的に利用されているグランド・サービス（配達日の保証がない）の場合は、あらゆる距離帯、重量とも日本に比べて運賃が安い。しかし、日本の宅配便サービスと同じレベル（ネクストデイ・エア）と比較すると、あらゆる距離帯において日本の運賃が安い。
- ・ヨーロッパでは、輸送距離および輸送重量にかかわらず、概ね日本の運賃が安い。ただし、ドイツと比較すると、輸送距離および輸送重量にかかわらず日本の運賃が高い。
- ・アジアの中国とタイでは、5 キログラム以下の輸送重量の場合、輸送距離にかかわらず概ね日本の運賃が高い。10 キログラム以上の輸送重量の場合、輸送距離にかかわらず日本の運賃が安い。
- ・韓国と比べると、2 キログラム以下の 600 キロメートル以下の輸送距離を除き、日本のほうが高い。

□日本 □アメリカ □イギリス □オランダ □ドイツ □フランス □中国 □韓国 □タイ

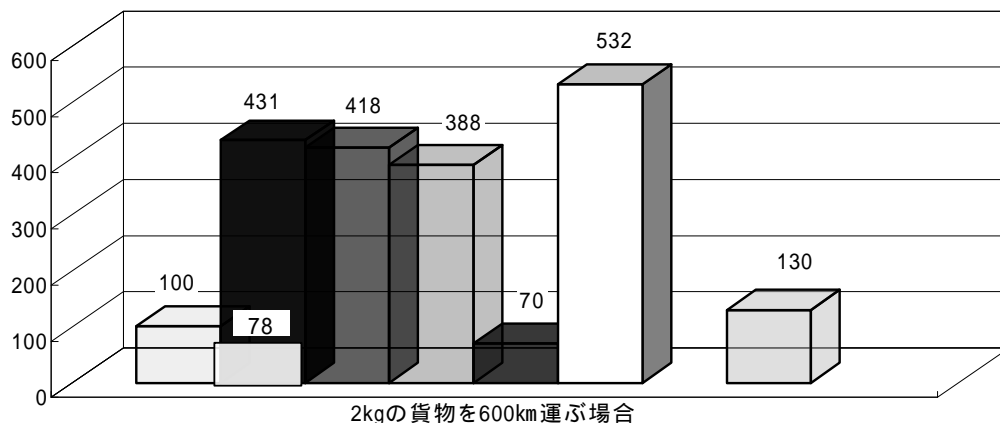


（注）アメリカの420は、日本の宅配便と同サービスのネクスト・デイ・エアによる運賃。
（71）は配達日の保証のないサービス（グランドサービス）の場合の運賃。

購買力平価による比較

- ・日本と同じサービスレベルの場合、概ね日本の運賃が安い。ただし、ドイツと比較すると、あらゆる輸送距離で日本の運賃が高い。
- ・韓国と比較すると、5 キログラム以下の輸送重量の場合、概ね日本の運賃が安い。

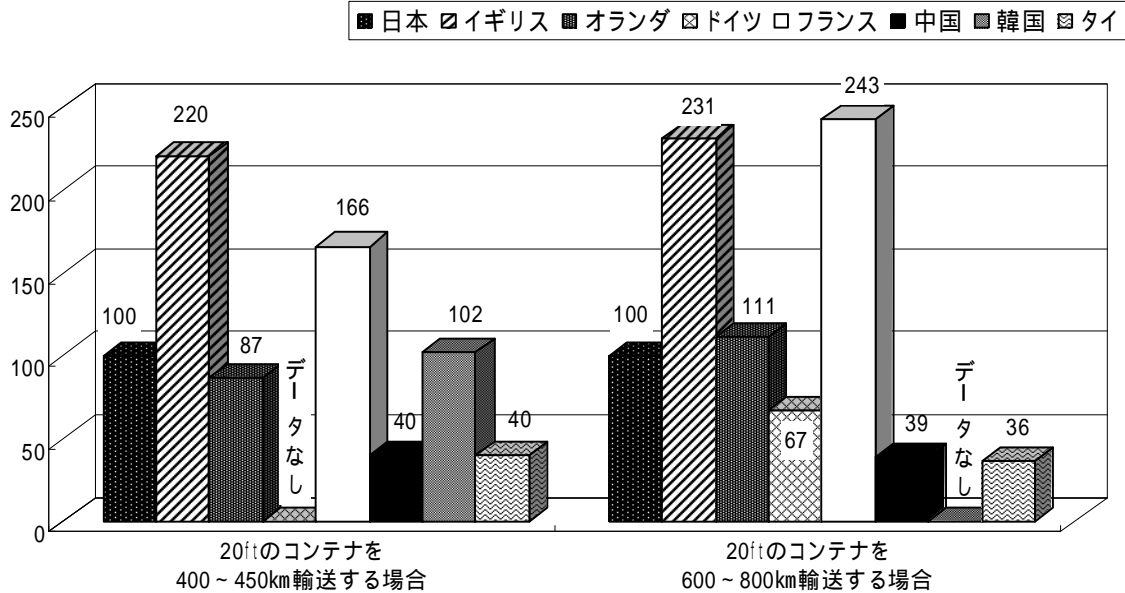
□日本 □アメリカ □イギリス □オランダ □ドイツ □フランス □中国 □韓国 □タイ



（注1）アメリカの431は、日本の宅配便と同サービスのネクスト・デイ・エアによる運賃。
（78）は配達日の保証のないサービス（グランドサービス）の場合の運賃。
（注2）OECDによるGDP購買力平価は、中国人民元、タイバーツについては発表されていない。

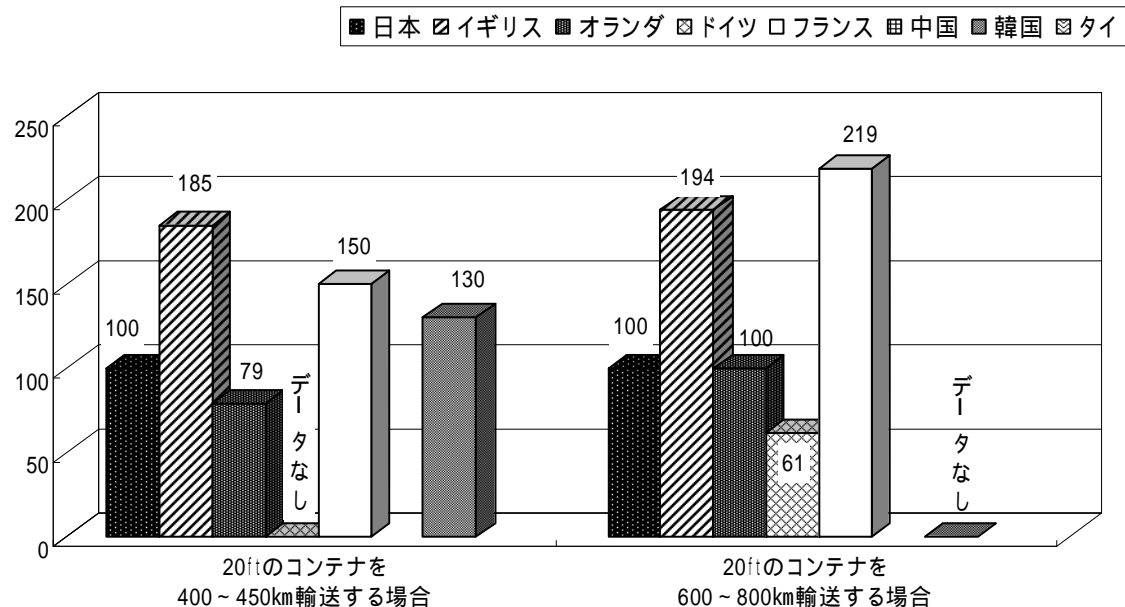
3. 貨物鉄道 為替レートによる比較

- ・ヨーロッパについては、イギリスおよびフランスと、オランダの長距離帯との比較では日本の運賃が安く、ドイツと比較すると日本の運賃が高い傾向にある。
- ・アジアについては、中国、タイとの比較では日本の運賃が高く、韓国と比較すると 20ft コンテナは日本の運賃が安い傾向にある。



購買力平価による比較

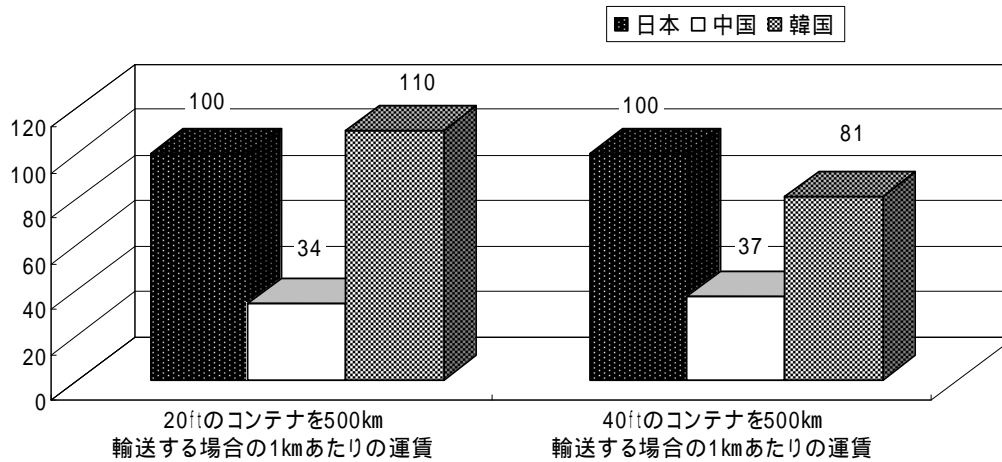
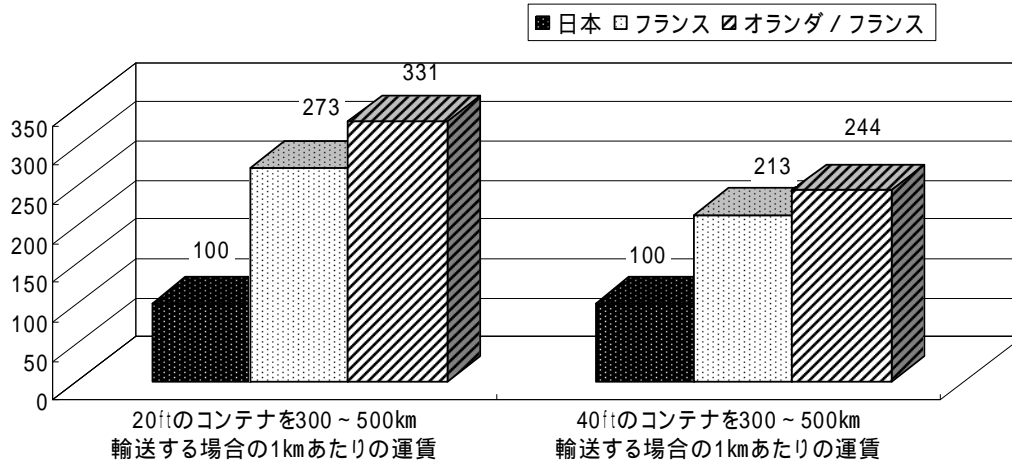
- ・ヨーロッパと比較すると、イギリス、フランスより日本の運賃が安く、ドイツ、オランダより日本の運賃が高い。
- ・韓国と比較すると 20ft コンテナは日本の運賃が安い傾向にある。



(注) OECDによるGDP購買力平価は、中国人民元、タイバーツについては発表されていない。

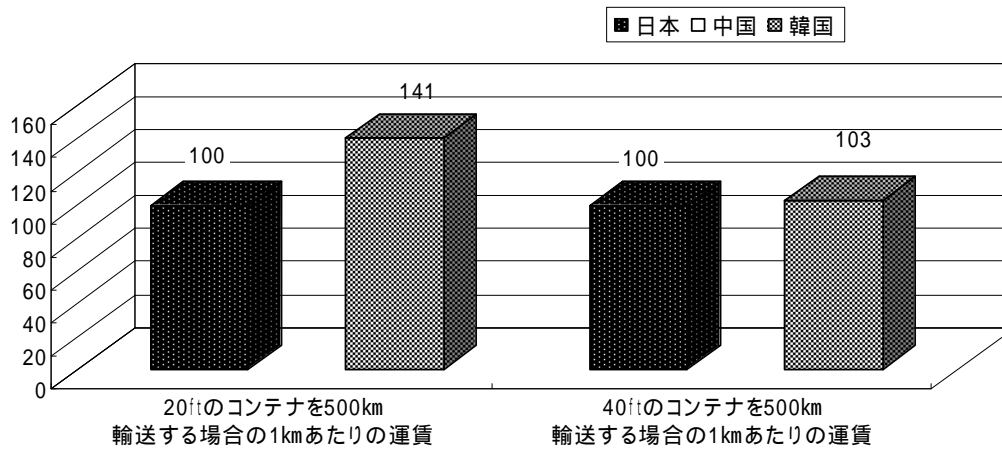
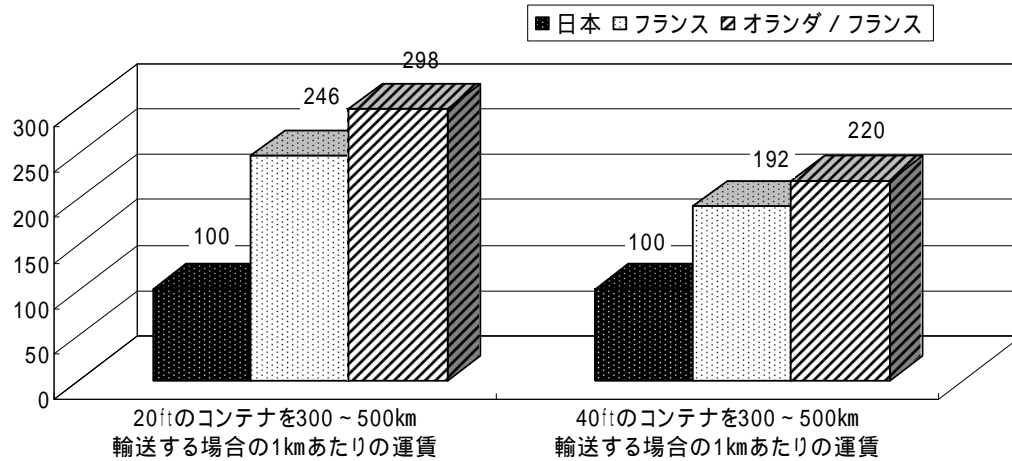
4. 海運・内陸水運 為替レートによる比較

- ・ヨーロッパと比較すると、日本の運賃が安い。
- ・アジアでは、中国と比較すると日本の運賃が高く、韓国と比較すると 40ft コンテナの 500 km を除き日本の運賃が安い。



購買力平価による比較

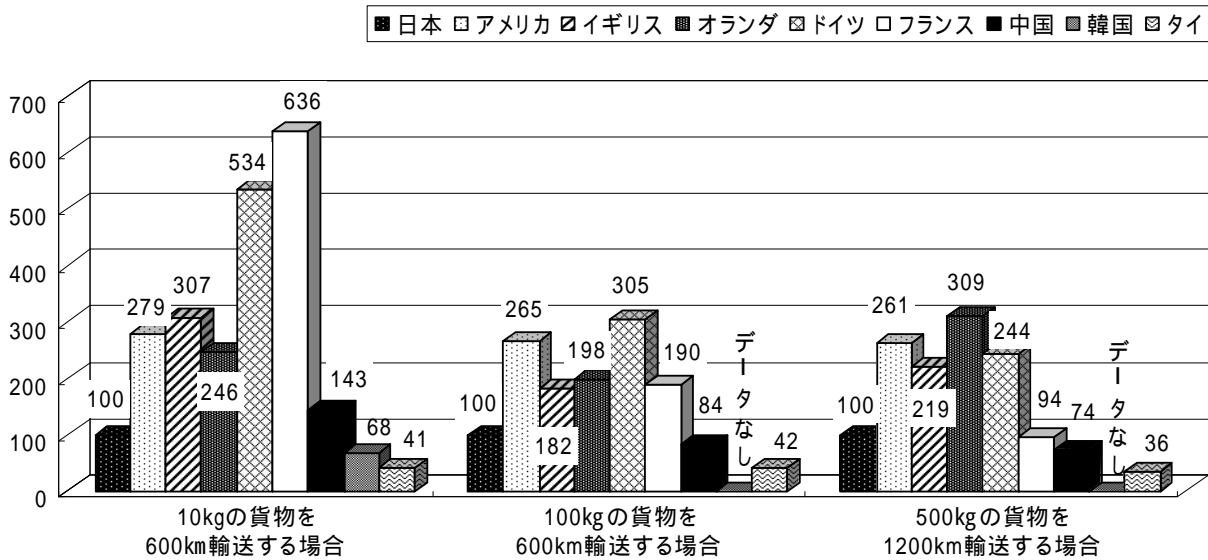
- ・ヨーロッパと比較すると、日本の運賃が安い。
- ・アジアでは、韓国と比較すると、日本の運賃が安い。



(注) OECDによるGDP購買力平価は、中国人民元、タイバーツについては発表されていない。

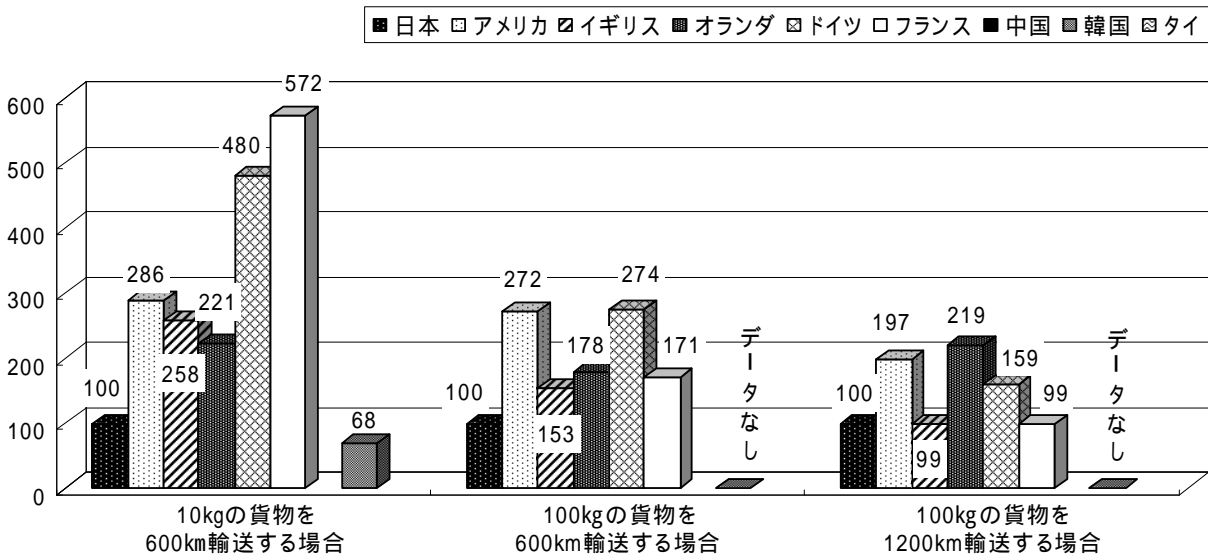
5. 航空 為替レートによる比較

- ・アメリカと比較すると、日本の運賃が安い。
- ・ヨーロッパと比較すると、概ね日本の運賃が安いですが、フランスでは輸送距離 1,200 km で 500 kg 以上の貨物は、日本の運賃が高くなっている。
- ・アジアでは、概ね日本の運賃が高いが、中国では 10 kg 以下の重量帯の一部で、日本の運賃が安くなっている。



購買力平価による比較

- ・アメリカと比較すると、日本の運賃が安くなっている。
- ・ヨーロッパと比較すると、概ね日本の運賃が安いですが、フランスでは輸送距離 1,200 km では 100 kg 以上の貨物で日本の運賃が高くなっている。
- ・アジアの韓国と比較すると、日本の運賃が高くなっている。



(注) OECDによるGDP購買力平価は、中国人民幣、タイバーツについては発表されていない。

以 上

(連絡先) TEL: 03 - 3593 - 0139
物流連 事務局 担当: 紅林、金子